

大阪学院大学 大学院入学試験問題

商学研究科(修士課程)

[論 文]

解答用紙の受験科目欄に「科目名」を記入のうえ解答すること。

次の4科目(「会計学」・「商学」・「経営学」・「英語」)から2科目を選択のうえ解答すること。ただし、1科目は志望する専修科目に応じた受験科目を選択すること。

会 計 学

下に示す3つの項目のいずれか一つを選び、説明しなさい。

- (1) 明瞭性の原則(わが国企業会計原則第一 一般原則四)
- (2) 収益認識基準としての実現主義
- (3) 繰延資産の本質

商 学

次の2題のうちの1題を選択し、解答しなさい。解答用紙には選択した問題の番号を文頭に明記しなさい。

- (1) ブランドのもつ基本的な機能について説明し、ブランド・エクイティについて述べなさい。
- (2) デジタル広告とマス広告を主体とする従来型広告を含めて、広告効果測定の基本的な考え方と方法について説明しなさい。

経 営 学

次の2つの設問から1題を選択して解答しなさい。

設問1 フジテレビと親会社であるフジ・メディア・ホールディングスの事例では、性的な被害を被った女性社員に対する会社側の不適切な対応が大きな社会問題になりました。コーポレートガバナンス(企業統治)の観点からどのような問題があるかについて、多面的に考察しなさい。

設問2 BCG(ボストン・コンサルティング・グループ)が経営資源配分や競争戦略(投資・育成・撤退)決定のために開発したプロダクト・ポートフォリオ・マネジメント(PPM)について説明しなさい。

【一般選抜・B日程】

2026年度

2026年2月7日実施

大阪学院大学 大学院入学試験問題

商学研究科(修士課程)

[論 文]

解答用紙の受験科目欄に「科目名」を記入のうえ解答すること。

英 語

次の英文を和訳しなさい。

この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。

出典

(William R. Scott, *Financial Accounting Theory*, 7th Edition, Pearson Canada Inc, 2015, p.432)